ささき創主通信

（議会報告 49 号） 平成 29 年 7 月

柳川市新外町 119-2
TEL:0944-74-1907 AX:0944-75-6058
Email:soshu.s@nifty.com
http://soshu.la.coocan.jp/

この 4 月、金子市長が無投票で当選し、これから 4 年間の市政を担うことになりました。

平成 29 年度の一般会計予算は、去る 3 月議会で可決していますが、市長選を前にして人件費などの義務的経費や継続事業の経費に限った骨格予算でした。

6 月 13 日から開催された 6 月議会で、補正予算（肉付け予算）が提案されました。その中で市民文化会館の建設費が提案されましたが、私が再三指摘した通り市民文化会館の建設費が更に膨れ上がり、総事業費が約 50 億円となってしまいました。

このことが新聞でも報道され、多くの市民の皆さんが不安に思われたことと思います。議会でも、私のみならず多くの懸念の声が上がりました。（詳細は後述）

また、市の人口減少も歯止めがかからない状況です。更に、少子高齢化と団塊の世代の退職により、学校教育にも影響がでています。社会構造の変化により様々な分野に軋みがでており、まさに過渡期の状況で、いかに次の時代に向けた対策を講じていくのかが問われています。

6 月議会の審議内容、市政の動きなどご報告いたします。

柳川市議会議員
佐々木創主

平成２９年６月定例会 会期：6 月 13 日～30 日

平成 29 年第 2 回目の定例議会が開催され,17 議案のほか諮問 1 件、請願 3 件が審議されました。

○平成 29 年度一般会計補正予算

今年の 3 月議会で成立した平成 29 年度一般会計は、4 月の市長選を控え義務費や継続費などに限定した骨格予算だったため、政策的な肉付け予算**約 30 億円**が追加され、**予算総額**が **300 億 5342 万円**となりました。

東京オリンピック・パラリンピックのキャンプ地に立候補

柳川市は、2020 年に開催される東京オリンピック・パラリンピックの参加国のキャンプ地にみやま市と共同で立候補することになりました。

誘致先の国は、トンガ、フィジー、サモア、グアムなどのオセアニア諸国で、先日代表団が柔道場やテニスコートを視察したということです。

今回、通訳代や食事代として 220 万円が計上されました。

キャンプ地に決まれば、地域の盛り上がり、子供たちとの交流も期待されます。

ただ、キャンプ地となれば体育館や柔道場の空調設備の整備など、新たな費用が発生するのではないかと心配する声も上がりました。

立花宗茂公と闇千代姫を大河ドラマに

柳川市が「立花宗茂公と妻闇千代姫」を NHK の「大河ドラマ」の題材にしてもらうため、招致委員

会を結成し招致活動を行うことになり、「ふるさと元気応援基金」から970万円が予算化されました。

「大河ドラマ」は、歴史人物が主人公ですが、主人公となる人物のゆかりの地は観光をはじめ大きな経済効果があることから、全国各地で招致活動が行われています。

「宗茂公と闇千代姫」は、50回もの放送に耐えうるエピソードが豊富。戦国・江戸時代の有名な武将との親交。多くの文献、資料が残り時代考証がしっかりしていること。二人が関わった地域が全国にまたがっていることなど大河ドラマの条件が整っているとのことです。

もし、大河ドラマが実現すれば福岡県の経済効果300億円、観光客150万人と予想されています。

宗茂公が柳川藩主に返り咲いてから 400 年の2020年の招致の実現を期待したいと思います。

住宅のリフォーム補助金が復活します

平成 27 年度で廃止されていた住宅リフォームの補助金が復活します。

自分の住まいを、市内業者に依頼してリフォームする場合、費用の 10 分の 1（限度額 10 万円）が補助されます。

対象となるもの

屋根・外壁などの工事、内壁・床などの工事、台所・浴室・洗面所・トイレなどの設備工事など

柳川市は、このほかに合併浄化槽設置補助金、太陽光発電設備補助金、高齢者がいる家庭へのバリアフリー化補助金、障害者住宅補助金などの制度があります。

それぞれのご家庭で、それぞれのご事情やタイミングで使い分けていただければと思います。

70歳以上の運転免許証の返納者にタクシーチケットが交付されます

高齢者による事故の増加が問題となっており、運転免許証の返納を進める状況となっていることから、柳川市は、70歳以上の返納者に1万円分のタクシーチケットを交付することになりました。

今年度は250人を見込んでいるようですが、この制度は平成31年までの3年間行われます。

ただ、車を運転できないと買い物をするにも不便になるという声も多く、みやま市などは 3 万円分を支給していますが、やはり元気で自分で運転できるのが一番です。

増え続ける市民文化会館の事業費

現在の市民会館は、建設から40年以上経過しているため、平成19年に1900万円をかけて調査が行われ、8億円で改修する方針が立てられていました。

30億円で新たに建設

私が立候補をした平成 25 年 4 月の市長選において、金子市長は現在の市民会館は、駐車場が狭い、座席が狭い、トイレの水漏れ、耐震構造となっていない、改修すると座席数が800席程度となり、1000席以上必要なＮＨＫの「のど自慢」もできないという理由から、大和町のピアス跡地に30億円で新たに建設したいとしていました。

しかし、市長に再選をすると検討会を立ち上げ、建設予定地が上宮永町の市民グラウンドに変わり、歴史文化の街にふさわしい「文化の殿堂」を建設したいとの方針を打ち出しました。

「40億円を死守する」の言葉はどこへ

平成27、28年で基本設計が行われ、事業費が40億円かかることが判明し、議会でも事業費の大幅増加に懸念の声が上がると、金子市長は「これ以上建設費が増えることはない。規模を縮小してでも40億円を死守する」としていました。

ついに50億円

今年になって、実施設計が行われ、事業費が50億円かかることとなってしまいました。

その理由として、大震災や建設業の人材不足で建設費が増加し、地盤が軟弱なため想定以上の費用が掛かるためとのことです。

しかし、40 億円をはじき出した平成 27 年には東日本大震災、東京オリンピックの施設建設の影響で、全国的に建設費が値上がりしていることは解りきっていたことで、有明粘土層の上にある柳川で大型施設を建設する際には軟弱地盤対策が不可欠なのは当たり前のことです。

市長は、「会議室とリハーサル室を兼ねるとか、今の市民会館の備品を活用するとか、設計業者と建設費を抑える折衝を何度も行いギリギリ削ってこの金額となった。今後も 40 年、50 年活用する施設だから、理解してほしい」としました。

しかし、事業費 40 億円のうち建物の建設費を 35 億円という条件で請け負った設計業者が 8 億円も増える設計をすること自体がおかしいと言わざるを得ません。

更に、市民文化会館の事業費が建設コストの値上がりで 2 割も増えるということは、現在進められている新しいゴミ焼却場、火葬場も 2 割増えるということになります。

そうなると、合わせて 30 億円も事業費が膨らむこととなり、将来の市の財政に大きな影響を与えてしまうことになります。

厳しい財政状況の現実

柳川市の財政事情は、決して豊かなものではありません。

市の予算のうち、市民税は 2 割の 60 億円程度、他のものを合わせた自主財源は 3 割しかなく、国県の補助金と交付税と借金に頼っている状況です。そして、市の全会計の市債（借金）は 400 億円を超えます。その返済の 5 割から 7 割が国から補助されると言っても、大きなツケであることには変わりありません。

人口減少、少子高齢化による税収の減少、医療費、高齢者福祉費の増加は止めようもありません。

そして、多くの地方自治体が、人口減少対策として、市外企業の市内への進出補助金、市内移住者への補助金、子供の医療費・保育費・給食費の補助など新たな人口呼び込み策を次々に打ち出しています。すると、近隣自治体も同じ制度を作らざるを得ず、そのたびに新たな出費が発生しています。

なぜ市庁舎のフェンスがネットに

厳しい財政運営の象徴的な出来事がありました。

柳川庁舎の南側は、市道との境界がフェンスで仕切られていますが、老朽化で穴が空き、錆びついた金属が突き出て、通行人に危険性があることから張り替えることとなりました。ところが、予算が足らないということで金属のフェンスではなく布のネットとなりました。

市のシンボル市庁舎のフェンスがネットとは聞いたことがありません。市の財布をやり繰りする財政当局の苦労は並大抵ではないと思います。

文化の殿堂、市民受けするハコモノ建設、目立つことには熱心ですが、足元を見ればフェンスの改修費用も無いのです。

住民の不安

市民の間でも、この建設による多額財政負担に疑問を持つ方々、そして建設工事によって交通安全、交通渋滞などに不安を感じている建設予定地周辺の方々が、そういった課題を改善するよう求め 1,461 名の署名とともに「建設計画の見直しを求める請願」も提出されました。

将来に対する責任

結果的に、この予算は賛成多数で可決し、「建設計画の見直しを求める請願」も不採択となり、この秋ごろから建設が始まることになります。

これまで、校区コミセン建設、校区公民館へのエレベーター設置など必要以上のハコモノ建設が行われてきました。

今後、新しいゴミ焼却場・火葬場の建設、庁舎統合による柳川庁舎の別館建設などが行われることになります。

ところが、これまでハコモノを増やしておきながら、これから公共施設を統廃合、廃止することにより、今より 20%減らさなければ将来の財政が持

たないとしています。

そんな状況にありながら、本当に必要なものなのか、改修で済ませられないのか、そんな議論もなく大きな負担を背負うことになってしまいました。

そして、市政運営と将来に対し責任をもって行政をチェックすべき議会議員一人ひとりがその責任をどれだけ認識して議会活動をしているのか、未だ「みんなで渡れば怖くない」の状況です。

子供の教育体制の強化と柳川の歴史文化に根差した教育を

来年から学校では「道徳」が正式な教科となります。すでに、授業時間数の増加、小学校での英語の教育など子供たちの教育カリキュラムが増え、先生方の負担も増している状況です。

そういう課題、柳川の教育のあり方など執行部と議論いたしました。

平成 21 年から変わった学校教育

平成 18 年に、教育基本法が昭和 22 年の制定以来 59 年ぶりに改正され、それを踏まえた新しい学習指導要領により平成 21 年から学校教育が大きく変わりました。

先ず、教育理念として智・徳・体のバランスの取れた力「生きる力」がキーワードとなり、授業時間数を増やし、基礎的な知識・技能の習得と思考力・判断料・表現力の育成というバランスの取れた教育のため授業時間数が 1 割程度増やされました。

全ての教科を理解するうえで重要な言語の力に重点が置かれ、伝統文化に関する教育、国と郷土を愛する心、道徳教育の充実などが盛り込まれました。

揺れる教科書採択

学習指導要領の改訂を受けた新しい教科書が平成 24 年から使用が始まり、平成 28 年度からは、その改定版が使用されています。

その中で、中学校で使用する「育鵬社」の「歴史、公民」の教科書について、領土問題や先の大戦の記述について問題視され、各地で市民団体や韓国の関係者から採択反対運動が起きています。

しかし、尖閣諸島が行政区にある沖縄県の八重山地区をはじめ横浜市など「育鵬社」を使用する地域が増えています。

ちなみに、柳川市の教科書は、「東京書籍」です。

文化活動をする子供の団体にも補助金を

学校以外で、スポーツや文化活動に取り組んでいる子供たちは少なくありません。

柳川市は、野球、サッカー、剣道、柔道などの少年スポーツチームに年間 2 万円の補助を行っていますが、合唱団などの文化団体にはありません。

そこで、文化活動にも補助をすべきではないかと質し、市は「補助金の制度を作りたい」としました。

子供のスポーツ、文化活動の指導はボランティアの方々です。以前、野球チームの遠征で監督が自らマイクロバスを運転し、居眠りで大事故を起こした報道がありました。

ボランティアの指導者、保護者の金銭的負担に支えられている子供のスポーツ、文化活動。2 万円ではなく更に支援を要請しました。

道徳が教科化されます

教育基本法と学習指導要領の改訂により、豊かな情操と道徳心を培うことが盛り込まれたことから、平成 21 年から先行的に道徳の授業が行われてきましたが、来年度から正式な教科となります。

教育界にインパクトを与えた 会津藩の「什の掟」

数年前、大河ドラマ「八重の桜」で「ならぬことはならぬものです」という、会津藩の「什の掟」が

話題となりました。

什の掟とは、藩校に入学するまでの 9 歳までの子供たちの「什」という集まりで、武士の心得を身に着けるための日々守るべきもののことです。

「什の掟」

一、年長者の言ふことに背いてはなりませぬ
一、年長者にはお辞儀をしなければなりませぬ
一、嘘言（うそ）を言ふことはなりませぬ
一、卑怯な振舞をしてはなりませぬ
一、弱い者をいぢめてはなりませぬ
一、戸外で物を食べてはなりませぬ
一、戸外で婦人と言葉を交へてはなりませぬ

「ならぬことはならぬものです」

以上の七か条のうち、7 番目以外は、今の時代にも通じるもので、特に教育関係者の間で大いに注目を集め、福島県では「ならぬことはならぬもの」の精神が教育に生かされています。

「什の掟」に劣らぬ柳川の安東省庵の「九か条」

この什の掟に劣らぬものが、柳川にもあります。

それは、柳川藩の儒学者「安東省庵」が自分の子供の「守直」を諭した文です。

「元禄己巳正月守直に諭す文」（原文）

行住座臥、問心曰
学問有懈乎　孝守身乎　忠出於諂乎　有私乎
有偽乎　懲忿窒慾乎 遷善改過乎 有驕吝之病乎
言顧行行顧言乎　汝當以此九者為日新之事也

「元禄二年の正月守直に諭す文」（現代語訳）

日々の生活で、自分に問いかけて見なさい
・しっかり勉強しているか
・家族を大事にしているか
・人に真心で接し、へつらったりしていないか
・自分の事ばかりで、わがままになっていないか
・嘘をついていないか
・怒り、欲を抑えることができているか
・失敗を改め正しい行いをしているか
・驕りや物惜しみはないか
・言葉と行動が違わないか

この九つの事を、日々心に刻んで行動しなさい

この文は、柳川市教育委員会が作成した**「心に響く素読集やながわ」**に掲載されており、小学校の生徒に配られています。

この素読集には、北原白秋の詩をはじめ漢詩、論語、俳句や短歌などが掲載されています。

福島県のように、更に活用していくよう求めました。

教育長も、「今後校長会とも協議して活用していきたい」としました。

増え続ける教師の負担

昨今、団塊の世代の退職により産業界では人材不足が問題となっています。

教育の場も例外ではなく、ベテラン教師と若手のバランスが崩れ、教育技術の伝承を危惧する声も出ています。

公立学校の教師は、県が採用し、各学校に配置されるわけですが、来年の福岡県の定年退職者が 1,000 人に対し、新規採用は 600 人とのことです。

少子化、学校の統廃合もあり、先生方の定員も減少しているとはいえ、教師不足の状況は続いています。

現在の、柳川市の小学校の先生の割合は、正規の教諭 85%に対し臨時の講師が 15%となっています。

小学校の先生は、基本的にすべての教科を教える学級担任の先生と校長、教頭、養護の先生という構成ですが、それ以外に県からの派遣で学力向上のための支援教師を配置している例もあります。

それでも、平成 21 年以降授業時間数が増加し、英語教育、道徳の教科化、そして保護者への対応、小学校の先生の負担は増えるばかりで、定年退職した先生が再任用で講師として復帰する希望者は非常に少ないということです。

そのため、教育体制が充実した自治体へ流れる講師が多く、残った地域は講師を確保するにも校

長・教頭先生が大変苦労されているとのことです。

体制強化で先生の負担軽減を

そこで、市や町が独自に人件費を負担して、講師を雇い担任の先生の支援を行っている自治体も増えています。そうすることで、担任の先生は、授業の準備などに充分に時間を割くことができるようになるため、柳川でも独自に教師を雇用すべきではと問いかけました。

対して、市長は「子供の教育は国と県が責任は持つというのが私の持論。他の自治体がやっているからと言って何でもという考えは無い。財政と相談したい」と答弁しました。

何とも認識違いも甚だしい発言です。以前は、教育は行政とは独立した教育委員会の権限で、行政は口出しが禁じられていましたが、教育基本法の改正により、教育に対する行政の責任がしっかり盛り込まれたのです。

次の時代と地域を担う人材育成、教育、それぞれの地域が歴史文化を踏まえ、独自の充実した教育を目指す時代だと思います。

平成 29 年 6 月 30 日
柳川市議会議員
佐々木創主

毎回連載している「日本再確認」に変わり、今回は柳川のちょっといい話を紹介したいと思います。

柳川庁舎に残された友情の石碑

現在の柳川庁舎は、昭和 52 年に 9 億円の費用で建てられたものです。

旧柳川市は、平成 34 年に赤字再建団体転落したため、緊縮財政運営のため、元の柳川高等女学校の木造校舎だった建物を使い続けてきていました。財政も健全化し、念願だった新庁舎完成に際し、市民上げてのお祝い行事も行われたようです。

戦艦「武蔵」の設計者

その庁舎完成を祝って、当時の古賀杉夫市長の旧制中学伝習館の先輩で三菱重工の社長古賀繁一さんが高額の寄附をされたということです。

古賀繁一さんという方は、戦前、三菱重工の技師だったそうで、旧日本海軍のあの有名な「戦艦大和」の兄弟艦「戦艦武蔵」の設計をした人です。

こっそり刻んだ石碑

古賀繁一さんは、この柳川庁舎だけでなく、白秋生家保存など数々の支援をされています。

そこで、古賀杉夫市長は御礼に「庁舎のどこかに古賀繁一さんの名前を残しておこう」としたところ、古賀繁一さんが「それだけはしてくれるな」と固辞されたため、「古賀繁一さんには分からない様に市庁舎入り口にある柳川市役所の石碑に名前を残した」ということでした。

それが、平成 17 年の 1 市 2 町の合併後、この柳川市役所と記した石碑（裏面は柳川市民憲章）を「柳川庁舎、新しい市民憲章」に彫りなおすということになったため、そのエピソードを思い出し、庁舎完成当時を知る幹部職員と一緒に石碑を確認すると、柳川市役所の文字を刻んだ大きな石碑の下に白い小さな石碑があり、「古賀繁一」の文字が刻んでありました。

柳川庁舎を見守ってきた石碑

古賀杉夫元市長と古賀繁一さんとの友情、心温まるエピソードを物語る石碑です。市の幹部とともに、「この石碑はこのまま残さなければ」ということで、文字に色を塗り直すこととなったのでした。

あれから 12 年、その石碑はいまだ健在ですが、あの時塗り直した色は、はげ落ちてしまっています。時の流れを感じます。